

地域の方々の「ちいさな手」
NPO法人 地域福祉支援センター ちいさな手

今できる、身近な活動から

Part 1 男女で楽しむ異文化クッキング NPO法人 エスニコ
Part 2 響き合いフェスティバル 2003 ビーブルファースト北海道

9月12、13、14日はSORA(札幌コンベンションセンター、札幌市産業振興センター)に集まりましょう

3日間にわたって全道フォーラム、全国フォーラムが開かれます。
市民活動の今とこれからを知る絶好の機会です。
どうぞご参加ください。

市民活動全道フォーラム

- 平成15年9月12日(金) 13:00~20:00
9月13日(土) 10:00~12:00
- オープニング講演会
テーマ『コミュニティビジネスとNPO』
講師:片岡 穂氏 (株)プレス・オルターナティブ・
第三世界ショップ・市民バンク代表
- 分科会
「廃校利用を考える」、「コミュニティビジネス 協働など地域
内での内発的発展」、「NPO実務講座 会計」、「田舎と都市の
暮らし方〜年収300万円ですらすら〜ライフ」、「子育て支
援を考える」、「NPO評価 委託事業との関連」、「ユースフォ
ーラム NPOをライフスタイルに取り入れる! こだわり就
職活動のすすめ」、「市民活動スタッフトレーニング」、「市民
活動公開プレゼンテーション」、「介護NPO研修」、「地域の
市場創造委員会」、「NPOと行政の 協働 関係を考える〜特
に委託や請負の具体的な条件整備に関して」、「NGO、国際
理解、国際協力など」、「一歩一歩一進〜規制を超えて〜交流」、
「移動介護連続講座 運転ボランティア育成」、「NPOの活動
資金」、「行政とのお付き合いの仕方(仮)」
- 場 所:札幌コンベンションセンター
(札幌市白石区東札幌6条1丁目)
札幌市産業振興センター
(札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1)
- 主 催:北海道立市民活動促進センター
NPO法人 北海道NPOサポートセンター
- 対象者:市民活動関係者、市民活動に興味のある方
- 参加費:無料
- 連絡先:NPO法人 北海道NPOサポートセンター
TEL.011-204-6523 FAX.011-204-6524
URL: <http://npo-hokkaido.org/>

NPO全国フォーラム2003北海道会議

“国”を活かす社会へ〜真の民主主義をめざして〜

- 平成15年9月13日(土) 13:00~18:00
9月14日(日) 9:00~16:00
- オープニングフォーラム
テーマ「NPOは真の民主主義実現の担い手になりうるか」
鼎談者(予定):上田文雄氏(札幌市長、前北海道NPOサポート
センター理事長)
北川正恭氏(早稲田大学教授、前三重県知事)
早瀬 昇氏(大阪ボランティア協会理事・事務局長)
- セミナー・分科会
■ テーマ1[地域再生] セミナー1「地域再生における住民自治のあり
方とNPOと行政の役割」 引き続き2つの分科会があります。
■ テーマ2[地域連携] セミナー2「地域連携によって社会を変える」
引き続き2つの分科会があります。
■ テーマ3[ミッションにこだわった事業] セミナー3「NPO 事業
のミッション性をどう評価するか」 引き続き2つの分科会があり
ます。
■ テーマ4[情報] セミナー4「市民社会を育てるメディアとは」
引き続き2つの分科会があります。
■ テーマ5[人] セミナー5「国」を活かす組織、組織を活かす「国」
引き続き2つの分科会があります。
■ テーマ6[資金源] セミナー6「組織を活かすための資金源とは?」
引き続き2つの分科会があります。
- 連続講座
2日間にわたり基礎、協働、政策をテーマに連続講座があります。
- 場 所:札幌コンベンションセンター
(札幌市白石区東札幌6条1丁目)
- 主 催:NPO全国フォーラム2003 北海道会議実行委員会他
- 対象者:全国のNPO関係者及びNPOに関心のある方
- 参加費:フォーラム全日参加10,000円(宿泊、食事は含まれません)
部分参加6,000円(1日単位)、レセプション2,500円
- 定 員:1,000人
- 連絡先:NPO法人 北海道NPOサポートセンター分室
TEL.011-756-0034 FAX.011-716-2899
E-mail:npo@mb.infosnow.ne.jp

※ 分科会のテーマは予告なく変更になる場合があります。

市民活動団体スタッフ養成講座 2003年 NPO・NGO スタッフトレーニングがスタート!

市民活動団体の担い手を養成する講座が6月28日(土)から
始まりました。初日のオリエンテーションでは互いを知り合うた
めのインタビュゲームや NPO のイメージワークを行いました。
29日(日)のNPO・NGO 概論1では「私と市民社会:政
府と企業と NPO」をテーマに北海学園大学の梅見弘紀教授がは
じめにボランティア資源やその歴史の講演、続いてリレートーク
として道庁のNPO担当の森田里絵さんが、「公」と「民」を比較
説明しこれからの「公益」は地域にしっかりと根ざした NPO に
がんばってもらいたいと語りました。さらに富良野演劇工場の広
瀬寛人さんは地元企業であり、NPO実践者として「行政・市民・
企業・NPO」は対立ではなく協力で可能性が広がると語りました。
午後のワークショップでは「2005年の私とNPO」をテーマに
4つに分かれて討議をしました。省エネのため夏の甲子園野球の
放送を秋にしては?と提案した「エナジー」チームが発想もユニ
ークと好評でした。



地域の方々の「ちいさな手」に NPO法人 地域福祉支援センター ちいさな手

人口7,500人、高齢化率25%の十勝の新町町。そこに、利用者の皆さんの「手」になりたいという思いから「ちいさな手」と名付け、平成11年2月に設立されました。事業内容は、居宅介護支援事業、訪問介護事業のほか、社会福祉士が支援する社会福祉に関する「よろず相談」の社会福祉士事務所があります。現在会員は20名、活動員はケアマネージャー3名、登録ヘルパー9名、移送スタッフ3名、事務職員2名。

「うちの売りは社会福祉士事務所なんです」と責任者の清野光恵さんはいいます。ある時、社会福祉士事務所に来られた地域の方が「この事業は高齢者だけなんですか」と尋ねられたので「そんなことないですよ。一緒にやってみよう」と答え、そして出来たのが今回新設された、たまたま箱（障害児童デイサービス）でした。また清野さんは、「小さなことでもやってほしいと言われたら即つくっちゃう。そこが行政と違うところ」とにこやかに話します。

ヘルパーの研修会にも力を入れていて、月1回開催しており、年度始めのミーティングでは、スタッフみんなの希望を聞きメニューを決めています。とても明るく、前向きに地域のことに取り組んでいます。



NPO法人 地域福祉支援センター ちいさな手
〒081-0038
上川郡新穂町西3線50番地15
TEL.01566-9-5560 FAX.01566-9-5561
URL: <http://www4.ocn.ne.jp/~oelt/>

情報スクランブル

(情報送付シートなどでいただいた情報です。)

◆車いす、アイマスク着用各自体験学習会◆

訓 語

内 容: 車いすやアイマスクを着用して、介護される立場で屋内、路上での移動・歩行などを体験します。

日 時: 平成15年8月6日(水) 14:00~15:00

場 所: 訓語市社会福祉協議会(訓語市加町12-3)

参加費: 無料

連絡先: ボランティア夢

TEL&FAX 0154-92-0075

◆明るく、健やかに、枝幸の 子どもを育てる市民のつどい◆

枝 幸

内 容: 各学校関係者・PTA・子ども育成会等、町内17団体が構成され、「情報交換会」などを開いており、今回は、「市民のつどい」という形で、講演会、中学生を交えた意見交換会を行います。今の子ども達の健康・体力・食生活などについて現状を認識し合い、問題点があればその解決のために地域ぐるみで取り組みます。

日 時: 平成15年9月7日(日) 13:00~16:00

場 所: 枝幸町中央コミュニティセンター(枝幸町本町)

参加費: 無料

連絡先: グループ 十勝宗谷の冒険(とむそうやのぼうけん)

TEL.01636-2-1346 FAX.01636-2-1055

◆第8回登校拒否・不登校問題 全国のつどいin北海道◆

札 幌

内 容: わが子の登校拒否・不登校に悩む、お父さん、お母さん、ともに悩み、心をくわしている先生方、相談員やカウンセラー、専門家の方々、青年、学生そして子どもたち、広大な大地、北海道で、全国の仲間たちと思いや悩みを語ってみませんか。

日 程: 平成15年8月 9日(土) 13:15~20:30

10日(日) 9:00~16:00

場 所: 定山溪ホテル(札幌市南区定山溪温泉西4丁目340番地)

参加費: 両日参加 3,500円(青年・学生 1,500円)

1日参加 2,500円(青年・学生 1,500円)

宿泊費 大人 9,000円(1泊2食込み)

連絡先: 第8回「登校拒否・不登校問題全国のつどいin北海道」実行委員会(北海道子どもセンター内)

TEL.011-733-6606 FAX.011-733-6609

URL: http://www1.odn.ne.jp/futoukou_zenkoku/

死の準備としての心理学の講義

◆スピリチュアル・ペインとケア・カウンセリング◆

札 幌

内 容: 人間における「死の問題」はすべての者が越えることは出来ません。まして臨牀に関わる看護・介護の方々には「生と死とを越える対人原理」としてのスピリチュアル・ケアの構築が求められます。これまで宗教や哲学のエリアとみなされていた「死の問題」をケア・カウンセリングの視点から検討を試みます。

日 時: 平成15年8月24日(日) 14:00~16:00

場 所: かでる2・7 4階大会議場(札幌市中央区北2条西7丁目)

受講料: 2,000円

連絡先: NPO法人 日本ケア・カウンセリング協会北海道支部

TEL.090-6449-9522

E-mail: jcca-hokkaido@jo-d.ne.jp

◆第一回世界職人学会in北海道◆

小 樽

内 容: 当団体は、運河の街小樽に民族の大移動を推進する仕掛人集団です。今年は職人を目指す若者たちのために「世界職人学会」を開きます。

国内外の職人展、体験工房、木製道具で実体験など、盛りだくさんの内容です。

日 時: 平成15年9月20日(土)~23日(火)

各日とも 10:00~20:00

場 所: ヒルトン小樽、ウイングベイ小樽

(小樽市築港11番3号・JR小樽駅南口前)

参加費: 無料(一部有料)

連絡先: 小樽ルネサンス21

TEL.0134-27-2611 FAX.0134-33-8333

市民と共に創るホスピスケア講座・一般公開講座

札 幌

◆がん生還者たち~病から生まれいつるもの~◆

内 容: 講師の橋原和子氏は、がんの長期生存者へのインタビュー、専門家との対談、自身の闘病記の三部からなる「がん患者学」のほか日米を取材して、がん患者にとっての希望とは何かを探った「がん生還者たち」等の著作で注目されるジャーナリストです。また、医師の立場から、山本和利氏にも語っていただきます。

日 時: 平成15年9月6日(土) 13:30~15:30

場 所: 北海道滝井学園大学北方圏学術情報センター「ポルト」

(札幌市中央区南1条西22丁目1-1)

受講料: 一般1,000円、会員・学生700円、中高生500円

連絡先: NPO法人 市民と共に創るホスピスケアの会

TEL&FAX 011-615-6060

◆中島公園 チャリティーフリーマーケット◆

札 幌

内 容: 福祉・環境・国際協力・教育などのボランティア団体が出店します。ボランティアグループのPRの時間もあります。あなたが何かを購入することでボランティア団体を支えることとなります。

日 時: 平成15年9月13日(土)、10月11日(土)

10:00~14:00(雨天時は翌日に順延)

場 所: 中島公園 自由広場(札幌市中央区中島公園)

連絡先: NPO法人 チェルノフイリへのかけはし

TEL&FAX 011-511-3680

◆シンポジウム「働きたい」「働ける」の狭間で —高次脳機能障害者の就労とは—◆

札 幌

内 容: 事故や病気で高次脳機能障害となった方々は「働きたい」と切実に願っています。支える家族達も何とか「働かせたい」「働いてもらいたい」と願っています。ところが、現実の「働ける」条件は厳しく、全ての「働きたい」の願いに答えることは出来ません。東京から招いた専門家とクラブハウス「コロボックル」の主任指導員でこの狭間を語り合います。

日 時: 平成15年9月14日(日) 13:30~16:30

場 所: 北海道大学学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目)

参加費: 1,000円

連絡先: 脳外療友の会「コロボックル」

TEL.011-858-5600 FAX.011-858-5696

市民活動促進センター 相談員からのワンヒント

(第8回)

今できる、身近な活動から

突然ですが次の略語がわかりますか? 「ホームペ」「ソウリン」「バナサク」、これは小学生でも使用しているネット用語です。IT化と高速回線が急速に普及している許、子供達はどの様に活用しているのでしょうか。ホームページの閲覧はもちろん、無料サーバーにホームページを作成する、絵を描く、日記を付ける、メール交換、チャット、オンラインゲームで対戦と、各々の個性を発信しています。

私は沖縄在住時、鹿島の小中学校にパソコンを設置し、インターネット接続と講習会を実施する「親子ネット」のNPO活動や、小学校でのパソコン非常勤講師、子供パソコン教室運営等の経験の中で、大人の想像以上に子供達のIT化は進んでいる一方、子供達にも情報格差が広がっている事実を感じました。

現在は「八軒夢子どもクラブ」でパソコン指導をしています。昨年、沖縄の子供達とインターネット交流会をしました。送られてきた黒砂糖、ゴーヤチャンプルを食べながら情報を交換し、子供達は北と南の違いを感じました。画面の向こうに友達いっぱい! ビデオチャットも簡単にできる時代です。ところで春先のこと、小6の娘宛てに「イラク戦争反対署名をお願いします。

そしてお友達5人に送って下さい」という内容のメールが届きました。「お母さんも署名して」と誠に依頼されたので「これはチェーンメールといって、サーバーを混雑させるものだから送らなくていいよ」と説明しました。楽しいインターネットの世界。反面、メールや掲示板使用のエチケット、セキュリティ問題、有料サイトや出会い系など、危険でもあるインターネットから子供達を守る為の情報教育が今必要です。それは、行政機関の許可がなくても、大人であり、親であり、地域住民であれば「できる」ことだと思います。クラブ活動に地域ボランティアを募集する小学校も増えています。総合的学習では地域住民との連携にヒントがあるようです。大人達が今「できる」身近な活動、小さな活動の積み重ねが、将来を担う子供達が住む「まちづくり」につながるのではないのでしょうか。

※「ホームペ」=ホームページ 「ソウリン」=相互リンク
「バナサク」=バナー作成

NPOイベントレポート

Part 1 男女で楽しむ異文化クッキング

私たちが外国に行くと、もし病気になったらどう医者に説明しますか? 具体的にどこがどう痛いかなどを医者に伝えることは大変難しいことです。NPO法人 エスニコでは、外国の方が病院にかかったときにスムーズな診察ができるよう、各国の言葉で問診票を作ったり、通訳を派遣するなどの医療問題に取り組んでいます。

このほか、異文化を知ることや会の輪を築くことを定期的に行っています。

今回は7月6日(日)に開かれた「異文化クッキング」におじゃましました。中国東北地方の料理である炸醬麵(ジャージャーメン)と鍋包肉(グオバオロウ)をつくる料理でした。講師は北大大学院生の郎さんと、助手の張さん、楊さん3人の指導のもとにクッキングスタート。鮮やかな郎さんの手さばきに参加者一堂驚嘆し、「中国の男性はみんな料理が得意なんですか」という質問まで飛び出しましたが、郎さんは祖父が調理師だったので、小さい頃から見て自然とできるようになったとのことでした。

麺はラーメンの麺を想像していましたが、きしめんのような太さの麺に肉味噌のたれと野菜のトッピングで食べました。

メインテーマは麺を打つことです。小麦粉に卵を入れ、こねること15分、延ばして、巻んで、切って、ゆでること10分で何となく講師の作ったものと色のないものが出来上がりました。

中国東北地方は寒さが厳しい土地柄なので味は濃く、少し油っぽいという説明でした。

食べ物を切り口に異文化に接する。小麦粉を使う料理方法には、こねてからゆでる一種・パスタ、焼くパン、蒸すまんじゅうと小麦粉は主食として世界中で使われていますが、なぜ大豆は世界の主食にならなかったかというコラムを読んだことがあります。食にはそれぞれ国の気候や風土、気質、文化などお国柄がでるもので、食の面から異文化に接することは大事なことであったと学びました。



NPO法人 エスニコ
〒060-0042 札幌市中央区大通西16丁目1-3
TEL.011-640-2825 FAX.011-640-2890

Part 2 響き合い フェスティバル 2003

障がい当事者が活動している「ビーブルファースト北海道」の主催により6月29日(日) ルーシス札幌で道内外のNPOや道内の社会福祉施設から延べ200人が参加しました。

第一部のコンサートでは、「草の実バンド」、「ヴィタット」、「わたげ」によるオリジナル曲を含めたバンド演奏とパフォーマンスがありました。

「草の実バンド」は、GLAYに憧れていたメンバーのひとりの高橋さんが「ぼくもロックバンドをやりたい」という思いから始まり、社会福祉法人「草の実会」の利用者、ボランティア、職員で1998年1月に結成されました。

第二部のさわり織りファッションショーでは、参加団体の中から実行委員会をつくり、そのメンバーがモデルの衣装選びから衣装合わせ、出演順番、音楽など全てを自分たちで選び決めました。27人のモデルが生き生きと、ところ狭しと舞台を飛び回っていました。この衣装は購入出来るものもありました。

さわり織りとは、手織り機で綿糸・布・毛糸・草・紙などをたて糸とよこ糸に使い、自分の感性で自分の思い通りに織っていくものです。

おたのしみ抽選会もあり、終始会場は笑いの連続で盛り上がっていました。

ビーブルファースト北海道
〒060-0033 札幌市中央区北3条東8丁目
TEL&FAX 011-208-9230

市民活動目より情報

今すぐできるちょっとボランティア その2

フェアトレード(公正な貿易)は、発展途上国の人々の経済的自立を支援するために、長期間にわたって安定的に買い上げることを保障する民間貿易です。

フェアトレード商品を扱う会社や団体は利益のうちから、人権や環境に配慮した持続可能な生産に向けてのサポート費用や、学校づくりなど様々な応援をしています。

札幌にある環境友好雑貨店「これからや」ではコーヒー(オルター・トレード・ジャパン(ATJ)からの生豆)やヒマラヤンワールドネパールカレー、ガムチャ布のエコバックなどたくさんの商品を取り扱っています。宅配もしています。

この他に「シャプラニール=市民による海外協力の会」や雑誌「ビーブルツリー」でも購入できます。

これからや <http://www.d6.dion.ne.jp/~korekara>
シャプラニール <http://www.shaplaneer.org/>
ビーブルツリー <http://www.peopletree.co.jp>

助成金情報

平成15年度ボランティア活動支援事業助成金

対象事業：自主的に「福祉や保健、医療の増進」「社会教育の推進」「まちづくりの推進」「文化、芸術、スポーツの振興」「環境の保全」「国際協力の推進」「子どもの健全育成」の7項目に該当するボランティア活動を1年以上継続して実践している団体に対し助成を行います。

助成金額：1件あたり3万円を上限

応募期限：平成15年8月15日（当日消印有効）

連絡先：財団法人 北海道地域活動振興協会

TEL:011-261-0803 FAX:011-261-0837

URL:<http://www.fureaizaidan.or.jp>

ボランティア活動助成と ボランティア活動等に関する調査研究助成

対象事業：①ボランティア活動を目的とした団体・グループで、特に在宅老人、障害児・者、児童問題等に対するボランティア活動などに対する助成と ②ボランティア活動等に関する調査研究に対し助成を行います。

助成金額：①1件あたり30万円を上限（総額5,000万円）

②1件あたり100万円を上限（総額300万円）

応募期限：平成15年9月15日（当日消印有効）

連絡先：財団法人 大和証券福祉財団

TEL:03-3685-5147 FAX:03-3682-0495

URL:<http://www.daiwa.co.jp/group/kouken/>

index-s.html

オススメ BOOKS

「集団創造化プログラム」ワークショップの可能性を探る

内容：本書は、ワークショップ手法を使って集団創造力（能力+知力+和力）を総合的に高めるプログラムが分かりやすく書かれています。

ワークショップの基本的な流れとゲーム・個人作業・グループ作業の代表的な手法について、特にコーディネーター向けに解説してあります。

ビジネス・まちづくり・教育・福祉など全ての分野に求められる新しい集団づくりのテキストです。

著者：清水義晴（スエに屋）、田村啓明
（株式会社博達堂）

和田一良（株式会社博達堂）

発行：株式会社博達堂共有編集室

価格：2,380円＋税



次代を切り拓く新針書『NPOジャーナル』（創刊号）

内容：NPO、大学、マスコミで活躍中の21世紀のNPOの担い手たちによる編集です。

グローバル化の進展、行政改革など社会・経済システムが転換期を迎えている今日、行政セクター、企業セクターに並ぶもうひとつのセクターとして市民活動（NPO）への期待が高まっています。

NPOがその役割を果たしていくために、NPOが生き生きと活動できる社会環境をつくるために、多様化するNPOの現状や他セクターとの協働の実情が分かりやすく書かれています。

編集：今瀬政司、末村祐子、田村太郎、中田豊一、藤野達也、宝満志郎、松原 明、望月洋樹

発行：（株）関西国際交流団体協議会

価格：年間購読料（4回）3,000円（税・送料込）

1部購読 700円（税込・送料200円別）



センターインフォーメーション

釧路市で市民活動基礎講座を開催しました

当センターの「基礎講座」の第1弾として、創設フォーラム実行委員会との共催により「NPOの未来を描こう！inくしろフォーラム」が6月29日（日）釧路市のまなぼとてで開催されました。

このフォーラムは、釧路管内の6つのNPO法人が実行委員会を組織し、釧路、根室管内のNPOのネットワークを広げようと初めて開催したものです。会場には約50人の市民が詰めかけ、実行委員会の3種委員長の開会挨拶、来賓挨拶に続き、実行委員会構成団体からの「NPOの現状と課題」と題した発表がありました。

この中で地域生活支援ネットワークサロンの日置さんは、事業が年々拡大し年間事業費1億2千万円、常勤職員34名にまでなり、当初の理念・思いに対するずれは生じてしまう。しかし、思いはいつも同じである必要もないと思う。当初の思いがあり、それを受けてスタッフ一人ひとりの思いが育ち、組織全体として地域に貢献できる仕組みづくりが大切、と訴えました。

このあと当センターの「基礎講座」として、npoweb 何でも質問箱でおなじみの赤塚和俊先生の「NPOの理念と公益法人制度改革の課題点」と題した講演会を開催し、NPOの社会的位置づけや現在政府で進められている公益法人改革の課題点などをNPO初心者にもわかりやすく解説しました。

さらに、このあと2つの分科会に分かれて活発な意見交換が行われました。

※npoweb（シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会のホームページ）のURLは<http://www.npoweb.gr.jp>

しろフォーラム



北海道立市民活動促進センターは、地域社会のニーズに的確に応えるようとするNPOなどの道内の市民活動を応援しているセンターです。

事務局ニュース

- 6月 5日（木）・アドバイザー養成講座（全8回）を静内町社会福祉協議会の企画運営によりスタート
- 6月20日（金）・市民活動地域フォーラム企画運営団体の募集締め切り
・宗谷管内社会教育担当職員との道内研修会一行がセンターを訪問
- 6月23日（月）・市民活動基礎講座企画開催パートナーの採択をHPで発表
- 6月28日（土）・市民活動団体スタッフ養成講座スタート（12/14まで全30回）
- 6月29日（日）・市民活動基礎講座「NPOの未来を描こう！inくしろフォーラム」を釧路市で開催
- 6月30日（月）・市民活動スキルアップ講座企画開催パートナーの募集締め切り
- 7月 1日（火）・全道フォーラム打ち合わせ
・野幌中学校生が総合学習の一環で当センターを訪問
- 7月 4日（金）・アドバイザー養成講座（全7回）を釧路市社会福祉協議会の企画運営によりスタート
- 7月 7日（月）・市民活動スキルアップ講座企画開催パートナーの採択をHPで発表
・市民活動地域フォーラム企画運営団体の採択をHPで発表
- 7月21日（月）・市民活動スキルアップ講座「しみせんパソコンSOS」（全4回）を札幌市において、NPO法人 あいねっと北海道を講師に迎えスタート

市民活動情報vol.11 2003. 7

発行 北海道立市民活動促進センター

[財団法人北海道地域活動振興協会]

〒060-0003

札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館西棟1階

TEL. 011-261-4440 FAX. 011-251-6789

E-mail: center@fureaizaidan.or.jp

URL: <http://www.fureaizaidan.or.jp/npo.html>